

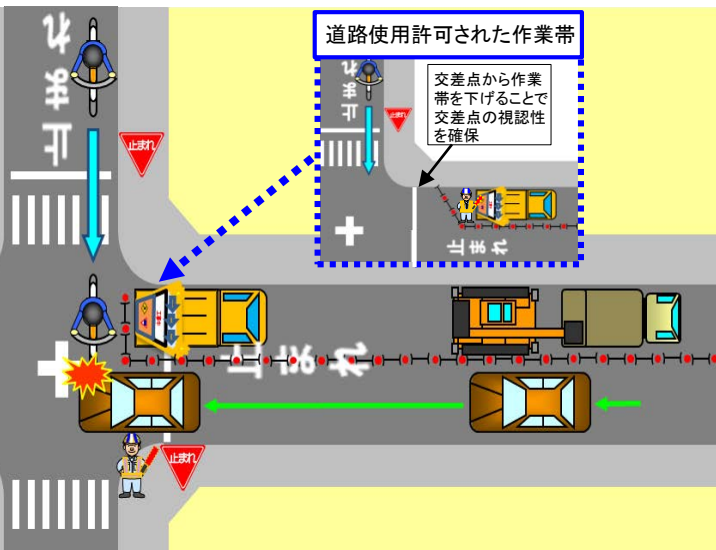
交通安全情報

—7月号—

令和7年7月3日
警視庁交通規制課

作業帯図と現場が異なり交通事故発生！

事故状況



【事故の概要】

交差点直近まで作業帯を設置しての工事中、作業帯脇を通過して交差点を直進した乗用車と自転車が出会頭に衝突しました。

現場は道路使用許可証の作業帯図どおりに作業帯及び交通誘導員を配置しておらず、交差点付近の見通しを遮る状況となっていました。

～再発防止のお願い～

- 交差点直近における作業帯、保安施設の設置により、交差点の視認性を妨げることのないように路上工事看板や規制車両を配置してください。
 - 道路使用許可を受けた作業帯図面は、申請内容に沿って必要な交通安全上の措置が講じられていますので、現場責任者は許可を受けた作業帯図のとおり現場の作業帯を設置してください。
 - 現場の状況等により作業帯や交通誘導員の配置等を変更する必要がある場合は、許可証の記載事項変更手続きを経て実施してください。
- ※ 道路管理者が行う道路協議(道路交通法第80条)を経た路上工事の場合で、協議内容に変更が生じた場合は、新たに変更内容について協議した上で施工してください。

道路使用許可 one point

～台風・ゲリラ豪雨等の対策～

○ 足場、建築用シート等の倒壊防止対策

例年、強風による足場等の倒壊事案が発生しています。歩道上に倒壊した場合、歩行者等に重大な損害を与えることとなりかねないため、台風接近情報がある場合はもとより、日頃から足場等の設置状況について、点検をお願いします。



○ 道路冠水による交通障害

台風による大雨、ゲリラ豪雨等により、道路が冠水し、通行止めになる事案が多く発生しています。特にアンダーパス部は雨水が溜まりやすく、道路使用の際や車両が通行する際は、注意が必要です。



警視庁交通部
特設サイト

交通事故を防ぐ、簡単だけど、効果のある方法が満載！

TOKYO SAFETY ACTION

<https://www.safetyaction.tokyo/>

